

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：建築&芸術学部 名前：谷本 天志 作成日：2026年1月30日

### 1. 教育の責任

主として絵画に関する演習・制作指導を担当している。学生自身の絵画制作における試行錯誤を重視した課題設計を行っている。学生一人ひとりの関心や強みを踏まえた個別指導を行い、研究・表現の両立を支援している。

### 2. 教育の理念

「わかること」だけでなく、「わからなさ」と向き合う力を育てることにある。専門知識や技術は重要である一方、それらは常に更新され、揺らぐものである。学生には、正解を早く得ることよりも、自身の違和感や失敗、停滞を引き受けながら思考し続ける姿勢を身につけてほしいと考えている。

価値観・信念として、教育は一方的な伝達ではなく、教員と学生が相互に影響を与え合うプロセスであると捉えている。そのため、私自身も教育実践を通じて変化し続ける存在であることを前提としている。

### 3. 教育の方法

専門的内容をできるだけ具体的な事例、作家や作品と結びつけ、学生が自身の経験と接続できるよう工夫している。また、意図的に曖昧さを残した問いや課題を提示し、学生同士の対話や議論を通じて多様な解釈が立ち上がる場を設けている。

完成度だけで評価するのではなく、プロセスや試行の痕跡を重視している。中間講評や振り返りの時間を設け、学生が自らの思考や選択を言語化する機会を確保している。

### 4. 教育の成果

学生からの評価は一年目ということもあり、特段記述することはできないが、今まで使用することのできていなかった場所での課題成果の展示や講評会の開催で他学部の学生、教員、スタッフからの声かけが得られた。

### 5. 改善への努力と今後の目標

抽象度の高い課題設定が、基礎力の不足している学生にとって負担となる場合があることも課題として認識している。今後は、段階的な補助教材や事例提示を充実させ、学生が安心して試行錯誤できる足場づくりを強化したい。

今後の目標としては、教育実践そのものを研究対象として捉え、展示発表を行える場所の開拓を進めることで、より開かれた教育方法の構築を目指す。

### 【添付資料】